

Q-0204 コンクリート舗装の工事期間は長くなるのではありませんか？

舗装工事において、路床・路盤工から表層敷設までの工事期間は、コンクリート舗装とアスファルト舗装に大きな差はないが、表層を舗設してから交通開放するまでの工事期間はコンクリート舗装では養生期間が必要となるので、アスファルト舗装に比べて長くなる。この差は新設工事でも補修工事でも変わらないが、補修工事では工事期間が短い場合が多いので、養生期間の短い材料や工法が採用されている。普通コンクリート舗装の交通開放までの養生期間の目安は、早強ポルトランドセメントを使用する場合で1週間、普通ポルトランドセメントを使用する場合で2週間、高炉セメントを使用する場合で3週間が標準となっている。養生期間を短縮する工法としては、転圧コンクリート舗装（RCCP）とすることで、交通開放までの養生期間を3～7日間に短縮することができる。また、最近の技術開発により、交通開放までの養生期間を1日に短縮できる早期交通開放型コンクリート舗装（1DAY PAVE）も NETIS 登録されている。

交通開放までの養生期間を更に短くする方法として、超早強セメント又は超速硬セメントの使用、プレキャストコンクリート版の使用などもあるが、材料コストが高くなるので、特殊な箇所への適用に限定される場合が多い。